



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古屋 茂 TEL 03-5332-6001  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	78,569	4.8	261	138.6	△65	—	△780	—
24年3月期第3四半期	74,940	0.6	109	△96.9	△280	—	△2,205	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △300百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △4,067百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△36.21	—
24年3月期第3四半期	△102.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	103,084	34,989	33.9
24年3月期	105,208	35,414	33.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 34,916百万円 24年3月期 35,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,500	1.6	150	△89.0	△350	—	△1,300	—	△60.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	21,778,220株	24年3月期	21,778,220株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	213,846株	24年3月期	213,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	21,564,416株	24年3月期3Q	21,556,216株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等による回復傾向がみられたものの、世界景気の減速等を背景に、輸出の減少や設備投資が弱い動きとなるなど弱含みの展開となりました。海外においては、米国における緩やかな景気回復傾向や、中国において鈍化していた景気拡大のテンポについても安定化の兆しがみられたものの、インドにおいては景気拡大のテンポが弱まっているなど、総じて弱い回復にとどまりました。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高78,569百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益261百万円（前年同四半期比138.6%増）、経常損失65百万円（前年同四半期は経常損失280百万円）、四半期純損失780百万円（前年同四半期は四半期純損失2,205百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、エコカー補助金の効果による国内販売増や東日本大震災の復興需要などに支えられ生産は増加していたものの、第3四半期以降はエコカー補助金終了の反動や自動車輸出の減少等により生産が減少しました。当社においては、主に輸出向け製品の受注減少等の影響を受け、売上高は45,848百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。収益面においては、売上高減少の影響及び新規製品の立ち上げに伴う設備投資による固定費の増加、東海工場の集約に伴う一時的な費用増の影響等によりセグメント利益は65百万円（前年同四半期比92.7%減）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響により減少した主要顧客からの受注が回復し、アメリカでの自動車販売も緩やかな景気回復のもとで好調であることから受注が増加し、売上高は16,102百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。収益面においては、受注増の影響や、メキシコで発生していた生産対応の遅れによる費用を削減したこと等により、セグメント利益は607百万円（前年同四半期はセグメント損失296百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、平成23年夏より合肥における新拠点操業開始した影響に加え、広州及びインドにおいても新規製品の量産が本格化したことにより受注が増加し、アジアでの売上高は12,802百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。収益面においては、インド及び合肥での先行投資による固定費の増加影響等により、セグメント損失は423百万円（前年同四半期はセグメント損失530百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で10.0%増となったものの、円高やLME市況低迷の影響によって価格が抑えられたことから、売上高は2,776百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。収益面においては、使用原材料を含む原価低減活動を図ったことにより、セグメント利益は48百万円（前年同四半期はセグメント損失18百万円）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、国内シェアは増加したものの、主要販売先である半導体関連企業の設備投資が低調であることに加え、通信会社のデータセンター向け物件の需要も低い水準で推移したことにより、売上高は1,039百万円（前年同四半期比36.0%減）となりました。収益面においては、受注減少の影響等により、セグメント損失は35百万円（前年同四半期はセグメント利益38百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,124百万円減少して103,084百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2,074百万円、売上債権の減少5,208百万円、有形固定資産の増加4,332百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,699百万円減少して68,094百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少2,361百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ424百万円減少して34,989百万円となりました。主な要因は、四半期純損失780百万円、為替換算調整勘定の増加362百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末33.6%から33.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月29日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、平成25年2月7日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,358	5,284
受取手形及び売掛金	24,541	19,333
商品及び製品	2,153	2,721
仕掛品	3,826	4,027
原材料及び貯蔵品	2,657	2,671
その他	3,949	3,789
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,486	37,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,433	11,169
機械装置及び運搬具（純額）	25,228	25,712
土地	5,716	5,716
建設仮勘定	8,747	10,850
その他（純額）	4,009	5,020
有形固定資産合計	54,135	58,468
無形固定資産		
投資その他の資産	901	886
投資有価証券	5,150	5,343
その他	535	558
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,685	5,901
固定資産合計	60,721	65,256
資産合計	105,208	103,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,653	12,714
電子記録債務	—	3,577
短期借入金	4,541	4,169
1年内返済予定の長期借入金	9,133	9,057
未払法人税等	273	237
賞与引当金	1,092	731
事業構造改善引当金	—	301
製品保証引当金	448	173
災害損失引当金	104	20
その他	7,919	7,505
流動負債合計	42,166	38,487
固定負債		
長期借入金	19,674	21,617
退職給付引当金	3,790	3,923
事業構造改善引当金	482	—
その他	3,680	4,066
固定負債合計	27,627	29,606
負債合計	69,794	68,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,117	5,117
資本剰余金	8,359	8,359
利益剰余金	26,240	25,330
自己株式	△320	△320
株主資本合計	39,397	38,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,846	1,964
為替換算調整勘定	△5,897	△5,535
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△3,570
新株予約権	67	73
純資産合計	35,414	34,989
負債純資産合計	105,208	103,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	74,940	78,569
売上原価	67,547	71,254
売上総利益	7,392	7,314
販売費及び一般管理費	7,282	7,052
営業利益	109	261
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	85	89
負ののれん償却額	54	—
為替差益	—	75
スクラップ売却益	51	53
その他	141	135
営業外収益合計	362	370
営業外費用		
支払利息	486	593
為替差損	208	—
その他	57	104
営業外費用合計	752	698
経常損失(△)	△280	△65
特別利益		
固定資産売却益	10	2
補助金収入	—	168
特別利益合計	10	171
特別損失		
固定資産除売却損	67	134
退職給付制度改定損	22	—
製品保証費用	1,504	—
災害による損失	205	—
その他	11	—
特別損失合計	1,810	134
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,080	△29
法人税、住民税及び事業税	592	702
法人税等調整額	△467	48
法人税等合計	125	750
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,205	△780
四半期純損失(△)	△2,205	△780

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,205	△780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△537	117
繰延ヘッジ損益	16	—
為替換算調整勘定	△1,341	362
その他の包括利益合計	△1,861	480
四半期包括利益	△4,067	△300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,067	△300
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	47,759	12,955	9,723	2,877	1,624	74,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,580	9	446	1,543	1	4,582
計	50,339	12,965	10,169	4,420	1,626	79,522
セグメント利益又は損失(△)	898	△296	△530	△18	38	90

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	90
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	109

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	45,848	16,102	12,802	2,776	1,039	78,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,797	2	390	1,781	0	4,972
計	48,645	16,105	13,192	4,558	1,040	83,542
セグメント利益又は損失(△)	65	607	△423	48	△35	263

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	263
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	261

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。